

## 産 業 建 設 委 員 会 記 録

開会年月日	平成25年 6 月 10 日	
開 会 時 刻	午後 1 時 01 分	
閉 会 時 刻	午後 2 時 13 分	
出席委員名	◎小山 敏 ○岡田 善行 吉井 詩子 品川 幸久	
	山根 隆司 上田 修一 工村 一三 山本 正一	
	世古口新吾	
	杉村 定男議長	
欠席委員名		
署 名 者	吉井 詩子 品川 幸久	
担 当 書 記	中野 諭	
審 査 議 案	継続調査 案件	伊勢市駅周辺整備に関する事項（伊勢市駅周辺整備の経過報告について）
	継続調査 案件	宇治浦田交通広場及びその周辺の交通対策その他諸問題に関する事項（市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証について）
参 考 人	株式会社伊勢敬 代表取締役 藤田昭雄様	
	株式会社加藤総合開発研究所 代表取締役所長 加藤誠三朗様	
	株式会社 K P G L U X U R Y H O T E L S 取締役事業本部長 吉川久也様	
	伊勢外宮参道 伊勢神泉副支配人 小川健一様	
	株式会社カトープレジャーグループ 経営企画室 曾根啓明様	
	株式会社長工 会長付プロジェクトマネージャー 太田善子様	
説 明 員	産業観光部長、都市整備部長、都市整備部次長	
	都市整備部参事、都市計画課長、交通政策課長ほか関係参与	

小山委員長開会宣言及び会議成立宣言。委員会記録の署名委員に吉井委員、品川委員を指名し直ちに会議に入った。

まず始めに継続調査となっている「伊勢市駅前周辺整備に関する事項」議題とし、これに関して参考人を招致することを決定。続いて当局から「伊勢市駅周辺整備の経過報告について」の説明、若干の質疑の後、参考人入室し参考人へ若干の質疑を行った。

参考人退室後、「宇治浦田交通広場及びその周辺の交通対策その他諸問題に関する事項」を議題とし、当局からの説明を受け、閉会した。

なお、概要は次のとおりです。

開会 午後1時01分

◎小山 敏委員長

ただいまから「産業建設委員会」を開会いたします。

本日の出席者は、全員でありますので会議は成立いたしております。

それでは会議に入ります。

会議録署名者2名を委員長において指名いたします。

吉井委員、品川委員の御両名をお願いいたします。

本日の案件は、継続調査となっております、「伊勢市駅周辺整備に関する事項」、「宇治浦田交通広場およびその周辺の交通対策その他諸問題に関する事項」の以上2件であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。そのように取り計らわせていただきます。

## **伊勢市駅周辺整備に関する事項（伊勢市駅周辺整備の進捗状況及び今後の取り組みについて）**

◎小山 敏委員長

それでは、伊勢市駅周辺整備に関する事項を議題といたします。

伊勢市駅前のジャスコ跡地の再開発については、ホテルなどの完成後に伊勢市から補助金が交付されることから、現在の状況、今後の運営などを調査するため、民間事業者の方を、参考人として委員会への出席をお願いしたいと思いますが、委員の皆さまは、いかがでしょうか。

出席していただいてよろしいですね。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎小山 敏委員長

それでは、お諮りいたします。

伊勢市市街地再開発等補助金に関連するジャスコ跡地再開発整備の調査のため、伊勢敬 藤田昭雄様、加藤総合開発研究所 加藤誠三朗様、KPG LUXURY HOTEL S 吉川久也様、伊勢外宮参道 伊勢神泉 小川健一様、株式会社カトープレジャーグループ 曾根啓明様、株式会社 長工 太田善子様、以上6名を、地方自治法第115条の2 第2項の規定に基づき、参考人として、当委員会へ出席を求めたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

よろしいですね、御異議なしと…(「委員長、よろしいか」と呼ぶ者あり)、どうぞ。

○山本正一委員

参考人で呼ぶのはやぶさかではないのですが、その参考人の今のあなたが呼ばれた資料を我々にもいただかんと、どうなんやな、そこら辺、もし仮に質問があったときに名前も僕らわからんし。

◎小山 敏委員長

だから言います、これから。肩書きも言いますのでね。

○山本正一委員

いや、いや、資料はないのかな。(「認めてもらったら資料はでる」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

まだ認められていないので。

○山本正一委員

渡すんやな。

◎小山 敏委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

まず始めに「伊勢市駅周辺整備の経過報告について」当局から説明を求めます。

都市計画課長。

●森田都市計画課長

それでは、伊勢市駅周辺整備の進捗状況及び今後の取り組みについて御説明を申し上げます。

資料をごらんください。

資料1の1ページには、伊勢市駅前再生関連プロジェクトのポジショニング、2ページには伊勢市駅前拠点整備プロジェクト進捗状況を添付してございます。

この資料につきましては、2月12日の産業建設委員会で御説明を申し上げたところでございますので、それ以降の進捗に伴い変更になりました点について御説明を申し上げます。

資料につきましては、同様の内容でございますので、2ページをごらんください。

まず、プロジェクト名「駅前広場整備」についてでございます。

伊勢市駅前広場については、ほぼできてきておりますが、バス乗り場の天蓋と舗装の工事が一部残っており7月下旬の完成予定となっております。

次に「観光案内所等整備」については、手荷物預かり所が、7月末のオープンに向けて建築を進めているところでございます。

次に「駅舎改良リメイク・バリアフリー化整備」については、資料がございまして、3ページの整備イメージ図を合わせてごらんください。近鉄伊勢市駅舎及び駅広場の屋根施設の整備イメージ図でございます。図面右側の近鉄駅舎は5月に完成しており、駅に向かって左側の屋根施設については、現在工事を進めており完成は7月下旬の予定となっております。

また、近鉄宇治山田駅のバリアフリー化については、鉄道事業者が8月末の完成を目途に取り組みを進めているところでございます。

次に「三交ビル等地区再整備」については、4ページを合わせてごらんください。平面図と現況写真でございます。既に御承知だとは思いますが、取り壊しが完了し、更地となっており、現在、跡地の利用については、地権者等で検討をいただいていると聞いております。

次に「ジャスコ跡地等再整備」については、5ページをごらんください。先日、情報提供させていただきました温泉の資料でございます。昨年、本体工事の関係で一時工事を中断しておりましたが、今年になって掘削を再開し4月に掘削が完了しています。その後、温泉の成分が確認でき、その結果がごらの資料でございます。源泉名は伊勢外宮参道温泉で、泉温は20.6度、泉質は含鉄（Ⅱ）、ナトリウム、塩化物・炭酸水素塩泉となっております。浴用はごらんとおりでございます。現在は、8月11日のオープンに向けて三重県に温泉を利用するための手続きを行っているところだと伺っております。

次に6ページをごらんください。ホームページにも掲載されています最新の整備イメージ図です。

7ページ、8ページは、ホテル棟の前に建設しています店舗棟の1階平面図及び2階平面図です。

9ページは、駐車場と外宮参道沿いに建設中の店舗の図面で、木造の建物となっております。

10ページは、前回にお示ししました伊勢市駅前プロジェクトのスケジュールを現時点に合わせて修正したもので、施設の建設等は7月末に完了し8月11日のオープンは変更ございません。

次に伊勢市駅前再生検討委員会について御説明申し上げます。

11ページをごらんください。伊勢市駅前周辺整備（南側）の考え方で、これは平成22

年 12 月 16 日の産業建設委員協議会で御説明を申し上げたものでございます。伊勢市駅前再生検討委員会は、平成 18 年 11 月に第 1 回目を開催しましてから、委員の皆様方からさまざまな御意見や御提案をいただき、一つのまとめを行いましたのがこの資料でございました。そこで、今回、これまでの成果を振り返る資料として添付をさせていただいたところです。

伊勢市駅前周辺整備については、伊勢市駅前と外宮をそれぞれの核として捉え、その間を繋ぐ外宮参道をモールとする、2 核 1 モール構想を基本とした考え方を打ち出し、民間の役割と公共の役割に分類して取り組みを行ってきました。

続いて、これまでの取り組みと現状について御説明申し上げます。

12 ページに図面と写真で状況をまとめましたので合わせてごらんください。12 ページの中央には伊勢市駅から外宮付近を中心とした図面に 11 ページに記載してあります取り組みの項目を表示してございます。赤色が伊勢市駅南側周辺地区、ダイダイ色が外宮周辺地区、緑色が外宮参道地区で、写真番号のあるものは、両側に施工前、施工後、若しくは施工中の写真が比較できるように掲載してございます。

全体的には、伊勢市駅南側周辺地区、外宮周辺地区、外宮参道地区について、先ほども御説明を申し上げました伊勢市駅前整備や民間によります再開発、外宮参道や広場の整備、そしてせんぐう館や常夜灯の整備など民間、公共ともに御遷宮に向けて取り組んできましたさまざまな事業が目的を達成したと考えており、外宮参道におきましては、新規店舗の出店や観光客の増加により大変な賑わいとなっています。しかしながら、今後の取り組みを含めて課題として残っておりますものもあり、主なものとして、三交・ジョイシティ跡等の再開発や伊勢市駅前広場の利活用などがございます。

これらにつきましては、今後、中心市街地活性化プランや官民連携のまちづくりに取り組む中で引き続き検討をしていきたいと考えています。中心市街地活性化プランにつきましては、今年度、庁内で協議し市としての考え方をまとめる予定で、伊勢市駅、宇治山田駅などを中心とした区域について、まちを活性化するための計画づくりに取り組んで参りたいと考えております。

資料の御説明は、以上でございます。

また、伊勢市駅前再生検討委員会につきましては、6 月 19 日に市役所内の 4 の 4、4 の 5 会議室で 18 時から開催を予定しております。今回で最終になりますことからこれまでの経過報告とまとめを行いたいと考えています。

以上、伊勢市駅周辺整備について御説明を申し上げます。どうぞ、よろしく御願い申し上げます。

#### ◎小山 敏委員長

ただ今の説明につきまして発言がありましたらお願いします。

この後また業者の方に入室していただきまして、質疑応答ができますけれども、当局に対する質問がありましたら。

吉井委員。

○吉井詩子委員

御説明ありがとうございます。この2核1モールの中の、この1モールについて1点だけお願いいたします。

先ほど御説明にもありましたように、外宮の参道が大変にぎわいを見せておりまして、喜ばしいことだと思います。この写真にありますように、外宮参道が車道と歩道の区別がなくなりまして、大変きれいな、いい感じにはなったのですが、その反面、安全性という面でちょっとどうかなという面があります。駐車車両が何台か見受けられますし、銀行前でもありますとか、その辺についての安全対策が、これから観光客がどんどんふえていく中でどうなっているのかなということをちょっと疑問に思います。

それで、ここは県道ですので、県とどのように協議をされているのかということについて1点だけお願いいたします。

●森田都市計画課長

ただいまの外宮参道の車両等の駐車によります安全対策、安全の確保ということでもよろしかったでしょうか。そこにつきましては、確かに御指摘のとおり県道でございますので、これからちょっとそういった車両等の安全については、地元の意向、そういうものを含めて県と調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○吉井詩子委員

ここでオープンカフェとか、そういうね、すごく期待のできるようなこともいろいろ考えてもらっていただいておりますので、この安全性ということも考えていただかないと、こういうことも進まないと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◎小山 敏委員長

他に御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

よろしいですか、はい、他に御発言もないようですのでこの程度で終わります。

参考人に入室していただくために暫時休憩いたします。

(休憩 午後1時12分)

(再開 午後1時16分)

◎小山 敏委員長

休憩を解き、会議を再開いたします。

本日は参考人といたしまして、株式会社伊勢敬 代表取締役 藤田昭雄様、株式会社加藤総合開発研究所代表取締役所長 加藤誠三朗様、株式会社 K P G L U X U R Y H O T E L S 取締役 事業本部長 吉川久也様、伊勢外宮参道 伊勢神泉副支配人 小

川健一様、株式会社カトープレジャーグループ 経営企画室 曾根啓明様、株式会社長工  
会長付プロジェクトマネージャー 太田善子様にご出席をいただきました。

お忙しいところ、産業建設委員会へ御出席いただきまして、まことにありがとうございます。

委員会を代表いたしまして御礼申し上げます。

それでは、ジャスコ跡地再開発整備の状況などの説明の後、委員から質問があると思  
いますので、それに対する答弁をお願いします。

発言の際は、挙手をして、委員長の許可を得てから発言していただきますようお願い  
いたします。

それでは、まず現状の説明からお願いします。

### ●加藤誠三朗参考人

皆さん、本日はお招きいただきましてありがとうございます。先ほど御紹介を賜りま  
したカトープレジャーグループ加藤総合開発研究所の加藤でございます。

まずジャスコ跡地について、こちらは株式会社伊勢敬様の御投資によって出来あがる施  
設でございます。今オープンを、8月11日を目途とさせていただいておりまして、8月8  
日には関係各位の方々をお招きしたレセプションというものも計画をしておりますので、  
また適宜御案内をさせていただきたいと存じております。

まず宿泊施設についてですが、当初御案内のとおり45室という客室でございます。うち  
3室がスイートルームでございますので少し広めのお部屋なのですが、通常でも30平米以  
上のお部屋とそれから今回市のほうにも御協力をいただき天然温泉を掘りました。こちら  
も認定をされ、天然温泉を有する施設ということになります。各室には露天風呂をつけて  
おりまして、ちょうどテラスのところ湯船をおいて風を感じていただきながら御入浴が  
できる施設となっております。

大浴場と露天風呂を兼ね備えておりまして、こちらに関しては御宿泊のお客様のみな  
らず一般の方々も開店当初から入っていただくようなことで、有料ではございますがお入  
りいただき、特に参宮の際にぜひ温泉に浸かっていただき身を清めていただき参宮  
していただきたいとそういうふうなことができるといふふうに考えております。

1泊2食ということでございますので、夕食、朝食をサービスさせていただきます。  
こちらに関しての食事所は1階に設けさせていただいておりまして、こちらは例えばご昼  
食であれば一般の方々、御宿泊以外の方々でも気軽に味わっていただけるようなことと  
いうことで、手前ども、料理人からですね、さまざま調査をさせていただくと伊勢という地  
は海産物を中心とした本当に食材の宝庫、それから調理方法についても非常に独特なもの  
と伝統ある素晴らしい料理がたくさんございます。それらを取り入れさせていただいた日  
本料理の懐石料理ということになってございます。こちらはお気軽に御朝食でも御利用  
いただけるようにと考えておりますし、また50名様以上の団体様も時間帯に応じては御利用  
いただけるということで、地元の方はもちろん、観光バスでの団体旅行の方々の誘致とい  
うことも現在視野に入れております。

今回、手前ども当初御説明をさせていただいたとおり、こういうところで商いをさせて  
いただく以上、さまざまな地元企業様とのかかわりがございまして、現在でありますと食

材でありますとか、それから御宿泊に伴う数々の備品関係、客室備品、リネンサプライ、清掃備品、中には従業員の社員寮、それから設備メンテナンス企業などとお取引先様として現在いろいろと商談を進めさせていただいております。ほとんどが伊勢市の企業様、もしくは伊勢市に営業所を持つ企業様というふうことになっておりまして、そういうところとお取引引きをさせていただいて、特に食材になんかに関しては大変、地元の物ということでございますので、地元企業様との直接取引というのを視野に現在商談をさせていただいている状況でございます。

また、物販に関してもさまざまに今オファーをいただいております、いろいろと御案内をいただいております。こちらに関してはしっかりと精査をさせていただいた後、さまざまなイベントを始め、常設を始め、売り場を設けて、さまざまに観光のお客様、一般に来られるお客様に御案内をさせていただきたいと存じております。

今回、少し開発の目玉といたしましてこの宿泊施設の前、ちょうど全敷地が700坪強ございますので、ちょうどホテル建屋のところの建築面積が約300坪、残りの400数十坪のところ売り場面積250坪、これは建築としては一体型なのですが、見た感じ、入った感じは棟別にわかれておるような構造でございます、こちらのところはちょっとした町並みの中の雰囲気でもってお買い物を楽しんでいただくという施設になってございます。現在こちらは、手前どもでは伊勢器市と名付けをさせていただいて、当初外宮参道にあるということで、外宮様がいわゆる御餉の神様、食だとか産業の神様であることから、特にここにちなんだ器ということを一つのテーマに、ちょうど伊勢を中心とする中部・東海圏というのは、全国的にみても陶磁器の本当に宝庫であるというふうに感じておりまして、日常使いの数百円の茶碗から、作家さんの手による逸品まで幅広く取り扱う売り場としております。こちらに関して、一部食品でありますとか、さまざまな地元のものと組み合わせをした商品だとか、さまざまなイベントにおけるそういう地元企業様、商店様とのさまざまなコラボレーション企画というものも今後実施してまいりたいと思います。こちらには手前どものバイヤーが常時在中をしておりますさまさまなお取引引き様と順次商談を進めさせていただいている状況でございますので、何か今後もし御提案、何か御指導があればぜひお願いをしたいと考えております。

店舗の営業形態についてですが、先ほど申しました一般入浴のところ、これは時間が今未定でございます。御宿泊のお客様の御使用というものが優先でございますので、そちらの方々にうまく入浴していただける時間帯と、それから一般の方々の時間帯というものを少しあわせさせていただいて、特にご不便のないような時間帯を選ばせていただいて、後に発表したいと存じております。

現在物販店舗については、朝9時から夕方5時までという営業時間帯を考えておりまして、こちらはさまざまなイベントだとか季節に応じて、少し営業時間帯を延ばしたりというのでも検討しております。

ちょうどこの窯元様に関しては伊賀焼、万古焼を初め、この伊勢を中心とする少し大きなところでとらまえさせていただいた地域というところで、東海三県内の窯元様と直接取引引きをさせていただくという形になっております。

こちらと食品だとか伊勢名産のものとの組み合わせの商品若しくは単独の商品については現在さまざま検討中でございます。



それでは雇用についてでございます。

当初発表させていただいたとおり120名から130名という人数になってまいろうかと思いますが、こちらは正社員それからパート・アルバイトの方を含めての人数でございます。今現在、正社員のところは、あらかたスタッフが決まりつつあるところでございます。

特に地元の雇用を中心とするパート・アルバイトを初めとする方々に関しては、今大体6割がたは、募集それから御応募いただいて、適宜面接、そして雇用させていただく契約ということになってまいります。大体6割がた決まっているようなところでございます。

恐らく最終的には75%ぐらいの方が、地元の方ということになるろうかと感じております。

今回の計画を鑑みまして、特に手前どもだけではなく、特にこの外宮の参道またその周辺地域というものが、伊勢市としてしっかりと活性化していくというところが、手前どものビジネスとしても、うまくいく一つの原動力かと思えます。

今回、多少ではございますが起爆剤らしきものができたかなというふうには考えておりまして、もしそういうことになれば、外宮参道全体でお客様を誘致していく。今まで、外宮参道、伊勢市の駅には降りなかった方々がですね、ちょっとこういうものができたから、ぜひちょっとよってみようといったところ、まあ手前どもの広告展開といたしましても名古屋、大阪、それからさまざまな沿線地域ということを中心にテレビ、新聞紙面、新聞広告、るるぶなどに代表される旅行誌、それから一般雑誌、若しくは一般雑誌の中でも伊勢の特集を組まれるところは、特にこのオープンしてから2年間というものは、かなりの数を出稿してまいりたいというふうには考えておりまして、それについては、ほんとに外宮周辺ということが今例えば、るるぶであれば、見開き2ページぐらいが特集なんですけど、それを周辺地域の地元の方々とも御努力をさせていただきながら、見開きが3つの6ページぐらいの特集になるぐらいのこの外宮参道若しくは伊勢市駅前ということになってまいりたいなというふうには考えております。

さまざまな企業様、元々地元で有力なところが、外宮参道にも出店をされておるようでございます。

そのあたりのところともスクラムを組んで何とか地域全体の活性化につながればと考えております。

私からは以上です。ありがとうございました。

#### ◎小山 敏委員長

はい、ありがとうございました。

この後、各委員からの参考人への質問をしていただくわけですが、当該企業に、今後の活動に不利益が生ずる恐れのあるような質問には答弁できないことがあるかもしれませんので、その点は御承知おきください。

ただいまの説明につきまして何か御発言がございましたらお願いします。

品川委員。

#### ○品川幸久委員

非常に前向きな説明ありがとうございました。先ほどの中で私ども非常に期待しておる外宮参道の中で、タグを組みながら一緒に盛り上げていこうというようなことが言われて

おりましたんでね、例えば、あそこですと、駅前商店街が絡むのか、外宮参道発展会が絡むのかよくわかりませんが、もうそこら辺のほうとは水面下の中でお話の機会とかそういうふうなのを持たれておるのか、ちょっとお聞かせを願いたいと思います。

◎小山 敏委員長

加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

いろいろと御指導をいただいております。具体的にこれをこうやっていこうということについてはまだ決まっております。

手前どもの、特に物販のところでは何かぐっと集客ができれば、そこです、数だとか、それから今後の展開だとかいうこともありまして、例えば、外宮の参道全体を使ってのイベントだとか、年に例えば1回ないし2回、できないものなのかですね、さまざまな集客に結びつくようなことというのは、ぜひ一緒になって考えてつくってまいりたいとこんなふうに考えております。

◎小山 敏委員長

品川委員。

○品川幸久委員

私もね、そこら辺がね、せっかく来ていただいたんですけど、地元の方々ともね、うまくやっていただいておりますね、盛り上げていってほしいと、そんなふうに思っております。

それともう1点ちょっと、細かいことで、すいませんけど、大浴場の開放の話がされましたね。私どもあんまり大浴場がどれぐらいの大きさになっておるのか全くわからないので、大体何名ぐらいですね、入浴ができるのか、女性と男性とたぶんわかれておると思いますけれども、伊勢市の地元の方が1回行ってみようと、たくさん寄ってもですね、逆に御迷惑がかかるんじゃないかなと、そこら辺の概要だけ少し教えただけですか。

◎小山 敏委員長

加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

鍵のかかるロッカーが60ほど各用意しております。ですから、男女120名様ほどのところが御入浴いただける。一部、宿泊の方に関しては、お籠なんかをご用意させていただいておりますので、一般入浴に関しては、いつときには100名前後の方がお入りいただいても、大丈夫なのかなというふうに感じております。

手前どももさまざまなところで温泉施設を運営しておりますが、それぐらいのロッカー数があれば、ピーク時に、1日にですね、開業時間にもよりますが、400名様から500名様ぐらいは対応ができるのかなと、それぐらいの時にちょっと一時、一番忙しいなというときには、少しお待ちいただくようなこともございますけれども、それぐらいの入浴者数は

可能かと感じております。

◎小山 敏委員長  
山本委員。

○山本正一委員

本当に伊勢敬の藤田社長ともども加藤社長等々、本当に伊勢市民が待ちに待ったものができるといことで期待もしておるし、伊勢市あげて喜んでおるといようなことですが、今、品川委員からも質問がありました温浴施設等々に関しまして、いわゆる今何百人単位の入浴客という話になってまいりますと、駐車場なんかはどのように考えておるのかな。1番最初、5階、6階の高層の駐車場ということが、今は平地になりましたよね。そうすると、従業員が150人ぐらいというような話も今承ったわけですが、恐らく七、八十台の従業員の車の確保、それから温浴施設へ入ってこられる人の駐車場の確保、そこら辺はどういうように考えてみえるのか。これは大変な問題だと思いますよ。

◎小山 敏委員長  
加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

先生のおっしゃっていただいたように駐車が非常に問題で、手前ども紆余曲折の中、特にこの手前どもがA敷地と呼んでおります今回のところですね、これが希望的なことで中途半端になってもいかんしといことで、民間企業なものですから、さまざまな資力の問題、それから手前どもも、さまざまな問題がありまして、現状のような状況になっております。

雇用する人材に対しては、これも面接をしてひしひしと感ずるところで、できれば車で来たいという方も多いんですけども、バス停、それから駅前ということもあって、何とか公共交通機関を利用してきていただきたいといことで、従業員の方には、お願いをしておりますが、この方、いい方だなと、しかしちょっと実家のほうから駅は遠いし、車で来たいんだという方に関しては、今ちょっと車の駐車場等も近隣、徒歩15分圏内ではいろいろと探しております。いくつかは月極で契約をさせていただいたりですね、特にこちらで常駐して寮等に住まいするメンバーに関しては徒歩でいける圏内でマンション等をお借りさせていただいたりとか、ずいぶん契約もさせていただいたのですが、そういう形で臨んで、駐車場に関してはこの事業は軌道に乗って、さまざまところでは、抜本的に関してというのはなかなかできないと思うんですけど、少しは何らかの形でアクションしたいなというふうには考えております。今本当に御指摘のとおり少し足りない状況です。

◎小山 敏委員長  
山本委員。

○山本正一委員

本当に待ちに待った施設ができて、早く儲かるようになっていただいて、あの駐車場のところへ、上へしてもらおうような、早くそういう形をとっていただくように、また我々も市民にPRをして、早くあそこを儲けるようにしたってくれと、こういうようにいわないかんでなやっぱし、(「ありがとうございます。」と呼ぶ者あり)、それで風呂に行ってもらうようにして儲かるようにせんとやっぱり建てたんでな。そやでまた会議所等々も一生懸命になっておりますので、そこら辺もこの駐車場の問題は、やっぱり市も、あなたらのパイプで何とか探しておるんやということ、みんなに言うて、みんなが協力しながらやっぱりしていかなと思うんで、あえてそういうちょっと苦言を呈して説明をして、市役所もちょっと応援すると思うんでね、そこら辺で空いておるところをみんな情報提供して借りたってくれと、こういうように言うてもらおうとありがたいので、まあそんなことでひとつ。

◎小山 敏委員長

他に御発言はございませんか。

せっかくの機会ですけど、よろしいですか。

世古口委員。

○世古口新吾委員

駅前開発につきまして、非常に私たちも喜んでおります。そうした中におきまして、店舗の関係、やっぱりあちらこちらから店舗が寄ってくると思いますが、地元との割合、その辺についてはどのような感じでただ今考えておられるのか。

◎小山 敏委員長

加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

さまざま、当該地だけではなく、近隣地についても今恐らく皆さん御承知のところだと思うんですけども、新しい建物を建て、そちらのほうも手前どもは伊勢敬様に協力をさせていただきながら進めております。その中ではあまり今現在のところは広くという形ではないんですが、地元の企業様との商談を進めさせていただいておりまして、特に当該地の器市に関しては、特にこの1年半ほどの開発の期間の中で、まず焦点を絞らせていただいたのが器でございまして、陶磁器、本当にこの東海三県の中でも、1,500以上の窯元さんがございまして、さまざまなところを直接回らせていただきながら、こういうとあれですが、通り一遍のものというよりも本当にやっぱり吟味された商品ということ、主眼に置いておりましたので、なかなかちょっと開発に余裕がなくてですね、まだ地元の方々との商談協議とそれから商品づくりというのがちょっと今遅延している状況でございます。

こちらは開店以後、特に遷宮までの間にさまざまなお話をさせていただき、特に器と絡めた商品だとか、また単独の物産の商品というものも、ぜひ協力をしながら開発をしていきたいというふうに考えております。

ですから、今のところ、器以外の割合というのは、まだほとんど商品化ができていない状況でございます。

◎小山 敏委員長  
世古口委員。

○世古口新吾委員

遷宮のことも考えますと、特に今どうのこうのということにはならんと思いますが、やはり遷宮を一つの契機として、その後もざっと賑わいを引っ張ってもらわないかんと思います。

そうした中で、なかなか日程的なものも含めまして、オープンしたのはよいけれど、なかなか思うように任せないという感じではいかんと思いますので、しっかりとやっていただきたいと思います。

それから温泉の運用ということで、先ほどの説明の中で、1日600名ほどの方が利用できるということで聞かせていただきましたが、この温泉の泉質を見ておりますと、非常に高齢者向けの適用が多いのではないかな、このように思います。

そうしますと、やっぱり高齢者の方が多く利用するということになってきますと、入浴すれば1時間、2時間で出てもらえればよろしいですが、半日入っておるとか、いろいろペースがあると思いますので、その辺の入浴時間の設定とかその辺は非常に厳しい条件になるかと思いますが、どのように…、入ってもらえれば半日でも1日でも利用しておれるのか、時間的な制約を定めるのか、なかなかその辺は大変なことだと思いますが。

◎小山 敏委員長  
加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

手前ども各地で温泉施設を…、先ほどちょっと600名とは言いましたけれども、それはマキシмум、入れる容量でございますので、本当にどれくらいの方が御利用いただけるかはちょっとまだ定かではございません。なるべく御希望の方には入浴していただけるように考えたいのですが、今のところ考えておりますのは、一般入浴に関してはロッカーの貸し出しをしまして、特に時間を制限というものをつけないつもりでおりますが、御危惧のとおり、本当になかなか回転せずずっとお待ちになっているような状況などもございますと、いろいろと手を打たなければならないと考えておりますが、今のところは時間制限などは考えておりません。

◎小山 敏委員長  
他に御発言ございませんか。  
上田委員。

○上田修一委員

少し中身が小さくなっていくかわかりませんが、ちょっと教えてください。

まず、先ほどカトープレジヤの社長が言われたような、イメージはわかりました。テナントというか、店舗については器市ということで、器を中心にされるようなことがテーマだというふうにイメージを受けたのですが、やっぱり伊勢に来て、伊勢神宮を中心にされてくるとなると、どうしても観光にこられるということで、伊勢のイメージというのを強く持たれて帰られると思いますので、その辺のところとの絡みはどういうふうにされるのですか。伊勢らしきものはあるかという意味、伊勢らしい店舗の内容になっているかということを知りたいのですが。

◎小山 敏委員長

加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

伊勢の地元のものがあるかどうかということをございましょうか。

◎小山 敏委員長

上田委員。

○上田修一委員

店舗に入っている内容については、器というのが全面に出てくるようなイメージだと受けたので、そうじゃなくて店舗には、伊勢らしき店舗のイメージがついていないような気がするのでお聞きしたいのですが。

◎小山 敏委員長

加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

特には先ほどちょっと申しましたように、少し遅延はしておるのですが、地元の物産とのいわゆるコラボレーションということで、例えば日本酒でありましたりとか、魚介類でありましたりとか、そういったものも、特に器に直結するものに関しては今開発を進めております。

建物に関しましてはいろいろと御指導がありまして、特に我々は白木と白壁というものが、やはり外宮参道にふさわしいということで、そちらのほうも主眼として建物は作らせていただいたという状況でございます。

特に商品の中身については、そういう伊勢に来た、伊勢物産らしいものというものは今後ふやしてまいりたいと考えております。

◎小山 敏委員長

上田委員。

○上田修一委員

もう1点、別の点で。御存じのように内宮のおはらい町に行きますと季節ごとにテーマを決めながら客を呼んでいるというのがありますよね。やっぱりその辺、こちらのそういう駅前も年間を通じて、そういう年間を通じた季節感があるようなものというのはイメージされているのですが。

◎小山 敏委員長

加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

こちらも計画としては、なかなか遅々としておるのでございますけれども、地元の方と御協力をさせていただきながら、何か一緒にアイデアを出してイベントのようなものが年間を通じて、何か新しいことができないかということは模索しております。

◎小山 敏委員長

上田委員。

○上田修一委員

それですね、やっぱり地域の、駅前の中心の方々の、やっぱり地元の方が多いものですから、その方とのコラボレーションをやっていただいて、やっぱりあの住んでいる地域の方々の発展も必要だと思いますので、地元地域の方との、そういう中で盛り上げていただくということをお願いしたいと思います。

◎小山 敏委員長

よろしいですね。

他に…、吉井委員。

○吉井詩子委員

伊勢市におきましては、バリアフリー観光に力を入れておりますのでバリアフリー観光に関しての例えばオストメイト対応でありますとか、そういう考え方について、対応について、教えていただきたいと思います。

◎小山 敏委員長

加藤さん。

●加藤誠三朗参考人

市長のほうからも特にバリアフリーということで。今のところ法令上のバリアフリーというものだけしか、手前どもは現在設備をしております。特に法令上のものの上をいく設備だとかいうことを現在は、一般的ないわゆる建築基準法にのっとった建物ということ

ですけれども、それは市長のほうからもぜひということで、御要請を受けましたので、今後手前ども学習をしてですね、何らかの御協力ができればというふうに考えておりました、今のところはそういう段階でございます。

◎小山 敏委員長

よろしいですか。

はい、工村委員。

○工村一三委員

8月の11日にオープンということで、非常に待ち遠しく感じております。またこれから伊勢の市のほうともいろいろとお付き合いをさせていただきたいというふうに思います。

それで、今この名簿を見せていただいたのですが、これからのお付き合いもございしますので、どういうふな御担当をされて、仕事の配分をされているのか、その辺をちょっと教えていただきたいなというふうに思います。6社来ていただいておりますので。

●加藤誠三朗参考人

自己紹介という形でよろしいでしょうか。

◎小山 敏委員長

はいどうぞ。

●吉川久也参考人

はい、私、KPG LUXURY HOTELSの担当で吉川でございます。よろしくお願ひします。

手前どもは、箱根、熱海のほうで旅館の運営をさせていただいております、今回伊勢駅前でのプロジェクトということで、そこで今までの運営で培ったノウハウというところと、またここ、新たな伊勢の地で新しいものをつくらせていただくということで、そのオペレーションの構築を、私を中心にさせていただく予定でございます。

特に箱根、熱海のほうがおかげさまで大変御支持をいただいております、やはりこの業界、リピーターですね、そういうお客様をたくさんつくらないとやはり商売としては成り立たないということでございまして、この伊勢も何回も足を運んでいただけるお客さまをいかにおいでいただくか、また施設として喜びのあるものにできるかというところで、そのオペレーションの構築、私どもKPG LUXURY HOTELSというこの法人が中心で立ち上げをさせていただく予定でございます。

まだまだ皆さまから御意見を頂戴して、また新しいものをつくっていかねばならないと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

引き続きまして、このオペレーション、現地に常駐いたします、こちらが責任者の小川でございます。

●小川健一参考人



このたび、伊勢外宮参道伊勢神泉の副支配人をさせていただきます小川と申します。私は、生まれは三重県でございますので三重のことはよく知っておりますので、伊勢のことに関しましてはさらにこれからも勉強しながら、事業を成功させたいと思っております。

現在立ち上げをさせていただいております、今後オープン以降も、私、こちらのほうでオペレーションを含めてさせていただきますので、何かと皆さまのお力をお借りすることが多いと思いますが、伊勢の特徴を出せるような旅館にしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

●曾根啓明参考人

私、カトープレジャーグループの本社機能に籍を置いております曾根と申します。

私の役割としましては、伊勢神泉、器市といった施設の販売促進、来客促進といったところのプロモーション策を練る役割となっております。もちろんメディアを使った広告、情報発信というのは行っていくのですが、先ほどお話にでました地元の方との協力とか季節のテーマ作りとかいったところに率先して取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

●太田善子参考人

何回もこういう席に出席をさせていただいておりますが、本当に長い間、あたたかく見守っていただきましてありがとうございます。長工の太田善子でございます。

今後の運営等はカトープレジャーグループさんの専門の方にお任せをして、後は陰でもうちょっと支えていけたらなというふうに思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

◎小山 敏委員長

他に御発言ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

他に御発言もないようですので、これで質問を終わります。

この際、委員会を代表いたしまして一言御礼申し上げます。

本日は、お忙しい中、本委員会へ出席をいただきまして、また本当に貴重な御意見を頂戴いたしまして本当に感謝申し上げます。

長年の懸案事項でありました伊勢市駅前ジャスコ跡地の再開発が伊勢敬さん並びにカトープレジャーグループさんのおかげをもちまして、ここまでこぎつけたことにつきまして本当にありがたく思っております。

工事が無事完成いたしまして、この事業が成功されますことを本当に願っております。そしてまたこの伊勢市駅前の賑わいが各商店街に普及していきますことを願っております。結びになりますけど、貴社のますますの御隆盛を御祈念申し上げます。

本当にどうも本日はありがとうございます。

御退席していただいて結構です。

ここで10分間休憩します

(休憩 午後 1 時50分)

(再開 午後 2 時00分)

◎小山 敏委員長

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、議員間の自由討議を行います。

何か発言がございましたらお願いいたします。

先ほどの件です。

品川委員。

○品川幸久委員

例えばね、今ジャスコの駅前についてはああいう状態で説明があったのですが、三交百貨店の跡地をね、当然地権者さんもおって、今平地のままですということ、できれば何かあそこのところをお借りして有効活用などは、私としては、今はやりではないですが、あそこでビアガーデンをやったり、例えば市民まつりのときにあそこを使わせてもらえるというようなことができればいいんですが、向こうは3社がかんでおるんで、そんなのは一切貸さないというようなことになろうかなと思うと、そこら辺のほうは行政のほうも仕掛けてもらってね、できる限りあそこのところからイベント発信をしてもらえるとちょっと広がると思うんですね。

今観光のほうで外宮前のあそこの一部のところから夜祭りみたいなことをやりかけておると思うのですが、広く広げていくには、ひとつのいい場所かなというふうに私としては思っておるのですが、その点皆さんどうお考えなのか、御意見があったらお聞かせいただきたい。

◎小山 敏委員長

先ほどの品川委員の御意見に対しまして。

上田委員。

○上田修一委員

私もやっぱりあそこは今の状態では非常にいかんと思います。当面これから出てくる一番身近な問題は、遷宮のときにくる観光バスが恐らく身動きできない状態できると思います。外宮内宮を回っていただくのやったらあそこに止めてでも外宮に行くというようなバスの台数があるかなと思っておるんです。

それでそれと平行して先ほど品川さん言われたようにあそこから、例えば伊勢まつりなんかあそこでやるというようなところが必要かなというふうに思います。

◎小山 敏委員長

他の皆さんどうですか。

山本委員。

○山本正一委員

一番の問題なのはさ、我々の思いと地権者の思いが一緒なら一番いいんやけどな、地権者がどういうふうに今思っておるのか、僕らもわかりませんやんか。今までの説明を聞いておると、あそこは恐らく駐車場にすることやで、舗装をして白線を引いてやな、ようわからんけれども、乗用車になるか、大型バスになるかもわからんし、そこら辺のことはみんな情報としてはどうなんやろうな。これ自由討議なんで当局に聞いてもいいんか、悪いんかもわからんし、当局、どこら辺までそこら辺の把握しておるのか。こちらの思いを言うておっても。本当に地主がどう思っておるかが問題やろ。

◎小山 敏委員長

だから、議員の考えというか意見を述べ合って、それを当局に聞いてもらっておいて伝えてもらったらいと思うのですよ。

○山本正一委員

今、情報はもっておらんのかな、ようわからんけど。

○山根隆司委員

自由討議やで、みんなどう考えておるか。私はこんな意見やと。

○品川幸久委員

私なんかは、ただ、向こう側のものがあるんですが、今の現在の平地のままであるんやったら、それを舗装するまでの間で、何とか有効活用を、市民ができるよというような、こういう情報を出せるような形にしていくとありがたいし、もし行政がそういうふうな今の状況を知っておるんであれば、議会のほうにね、早く今の状況、全然使えませんよ、ここは向こうがこういう計画がある、それがどういう計画かわかりませんが、一切させませんよというのか、やっぱり市民のほうでこういうことでイベントで貸して欲しいというようなことがあればですね、ぜひとも活用できるのであれば、私どもとしては、市民の側としては、そういうことの活用もしていただきたいなと思っていますけれどね。

◎小山 敏委員長

他にどうですか。

山根委員。

○山根隆司委員

今品川委員が言われたように私もそういうふうに考えております。個人的な意見として、議員間の自由討議ということで、個人的な意見というたら、もう僕は、本当に財政難では

あるけれども、あそこは市が取得すべき土地であろうと。財政難ではあるけれども、もし、相手さんがあるけれども、譲って売っていただけるのであれば、市が保有財産として持つべき土地であるのかなど。そしてそこを品川委員の言われたように伊勢市のまつりを初め、出発地点として、市民広場として利活用するのが一番望ましいというように私個人は考えるところがあります。相手さんがあることですので、その土地を伊勢市の市有財産として持つことがいいのかどうか、賃貸借のほうがいいのかどうか、相手さんがあることなので、本当に今の段階でどうと言えないとは思いますが、最終的なことを考えて伊勢市の発展ということを考えるのであれば、本当に英断をして、それが何億円であろうが、あの場所については、個人的には市で持つべき土地であろうというように考えております。

◎小山 敏委員長

ありがとうございます。

他にどうですか。

よろしいですか。今、議員間で、それぞれ皆さんの考えを述べていただきましたので、当局の方ですね、またそれをですね、ちょっと頭に入れておいていただきたいなと思います。

他に御発言もないようですので自由討議を終わります。

本件につきましては引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

御異議なしと認めます。

本件については引き続き調査を継続いたします。

### **宇治浦田交通広場およびその周辺の交通対策その他諸問題に関する事項（市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証について）**

◎小山 敏委員長

次に「宇治浦田交通広場およびその周辺の交通対策その他諸問題に関する事項」の「市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証について」を議題といたします。

当局の説明を求めます。

交通政策課長。

●岡交通政策課長

それでは、市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証につきまして御説明申し上げます。

5月16日の産業建設委員会におきまして、平成24年3月から平成25年3月までの収入についても御報告いたしました。支出についても提示すべきとの御意見を頂戴しましたので、観光交通対策特別会計と伊勢地域観光交通対策協議会の収支につきまして、平成

23 年度と平成 24 年度の実績、そして平成 25 年度につきましては予算ベースでまとめたものを御報告させていただきます。

まず、資料 2 の 1 ページをごらんください。

この表につきましては、前回の委員会で御報告いたしました、宇治駐車場と内宮前駐車場の収入実績に加えまして、駐車回数券の収入実績を入れ、後でお示しをいたします特別会計の収入と整合性があうようにさせていただきましたので、御高覧賜りたいと存じます。

次に 2 ページをお開きください。

この表は、観光交通対策特別会計によります収支でございます。

まず、この表の中の駐車場収入と、駐車場管理運営経費の欄に、米印の 1 と、米印の 2 が記載してあります。これは、平成 23 年度につきましては、宇治駐車場が 3 月 1 日からの 1 カ月分、平成 24 年度につきましては、内宮前が 7 月 1 日からの 9 カ月分ということを示しております。

なお、平成 25 年度は予算額でございます。

各年度の収入につきましては、網掛け部分が各年度における駐車場収入と雑入の計となっております。

また、収入の中で、一般会計からの繰入金につきましては、償還をしていかなければならないものでございますが、設備投資と管理運営に分けて記載をさせていただきました。

次に、3 ページをごらんください。

伊勢地域観光交通対策協議会の年度別の収支でございます。

この収支につきましては、伊勢地域観光交通対策協議会の会計年度が 9 月から翌年 8 月までとなっておりますが、特別会計との比較がしやすいように、市の年度の 4 月から翌年 3 月に換算しなおしてございます。

また、平成 23 年度の米印の 1 が記載してありますが、これは、市営駐車場が平成 24 年 2 月まで有料化されておりませんでしたので、現在の有料駐車場となっている場所において、協議会運営の臨時駐車場として初参り時期とゴールデンウィーク時期に駐車整理料の 1,000 円を頂戴していたということを示しております。

平成 24 年度においては、通年の欄に金額が入っておりますが、これは、市営駐車場の有料化以降については、グリーントピアについて、臨時駐車場として開設する場合についても、駐車整理料として 1,000 円を頂戴することとなったことによるものでございます。

結果としまして平成 23 年度と 24 年度の収入計を比較いたしますと、市営駐車場の有料化に伴い、協議会としての収入が、おおよそ 7,000 万円程度減少していることがわかります。このことから、パークアンドバスライドなどの交通対策に必要な財源として、市から頂戴している負担金が増加となっている理由となっております。

なお、平成 25 年度は予算額でございます。

支出の欄におきましては、金額とあわせて、その横に内宮周辺の交通規制を含めた対策期間とパークアンドバスライドの日数を記載しておりますので御高覧賜りますようお願いいたします。

以上が市営駐車場の収支でございます。

次に、4 ページをお開きください。

これは、本年のゴールデンウィーク交通対策実施期間中の交通状況についてまとめたものでございます。

平成23年度、24年度、25年度の状況を内宮参拝者数、内宮周辺駐車場の利用状況、サンアリーナ周辺駐車場とシャトルバス利用状況を上段に記載し、下段にそれぞれの道路での渋滞状況を記載しておりますので、御高覧いただきますようお願いいたします。

なお、現在の料金につきましては、引き続き検討を行っているところでございますので、何とぞ御了承を賜りたいと存じます。

以上、市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証につきまして御説明申し上げました。よろしく御願い申し上げます。

◎小山 敏委員長

ありがとうございました。

ただ今の説明につきまして御発言がございましたらお願いします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

よろしいですか、いいですか。

御発言もないようでございますので説明に対する質問を終わります。

次に、議員間の自由討議を行います。

何か御発言がございましたらお願いします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

発言もないようでございますので自由討議を終わります。

本件につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

御異議なしと認めます。

本件については引き続き調査を継続いたします。

以上で、御審査いただきます案件は終わりましたので、産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午後2時13分

上記署名する。

平成25年 6 月 10日

委 員 長

委 員

委 員